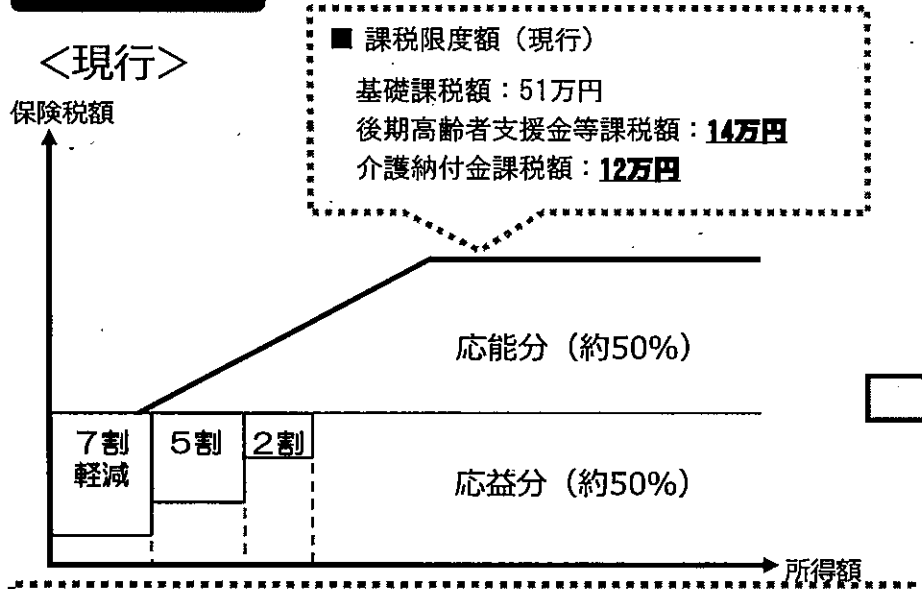


国民健康保険税の課税限度額の見直し及び低所得者に係る保険税軽減の拡充 (国民健康保険税)

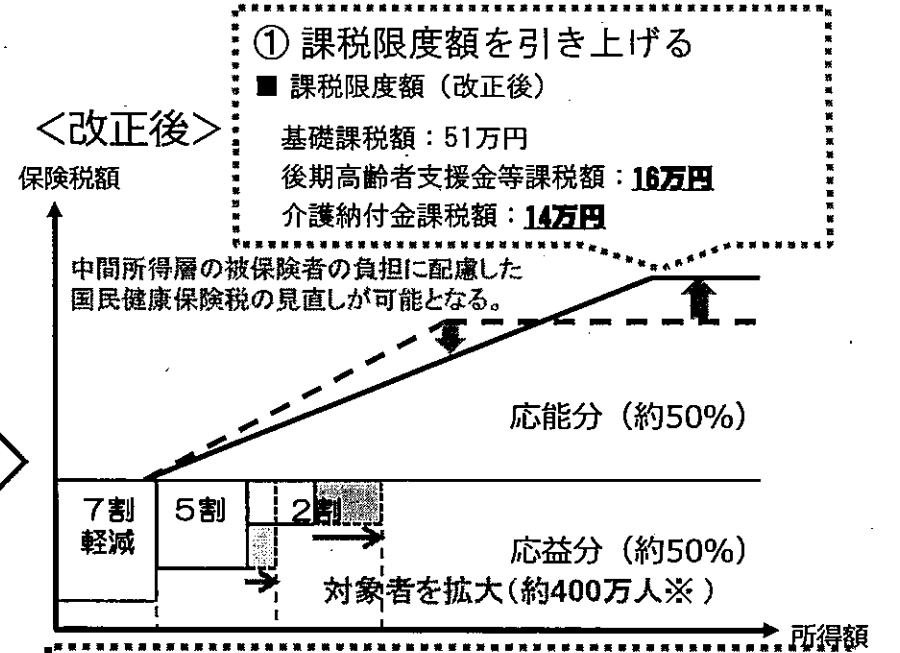
大綱の概要

国民健康保険税の後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額を16万円(現行14万円)に、介護納付金課税額に係る課税限度額を14万円(現行12万円)に引き上げる。
 低所得者の国民健康保険税の軽減措置の対象を拡大するため、国民健康保険税の5割軽減及び2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の引上げ等を行う。

改正内容



■ 軽減判定所得 (現行)
 7割軽減基準額 = 基礎控除額(33万円)
 5割軽減基準額 = 基礎控除額(33万円) + 24.5万円 × (世帯主を除く被保険者数 + 特定同一世帯所属者数)
 2割軽減基準額 = 基礎控除額(33万円) + 35万円 × (被保険者数 + 特定同一世帯所属者数)



■ 軽減判定所得 (改正後)
 5割軽減基準額 = 基礎控除額(33万円) + 24.5万円 × (被保険者数 + 特定同一世帯所属者数)
 2割軽減基準額 = 基礎控除額(33万円) + 45万円 × (被保険者数 + 特定同一世帯所属者数)

※国民健康保険料の軽減拡大と合わせた人数